

1. 平成30年学習指導要領の主な改訂のポイント

- （学習の過程）単元を見通して、社会的な見方・考え方を働かせる課題（問い）を設定し、課題を追究したり解決したりする活動の充実
- （知識及び技能）基礎的・基本的な「知識及び技能」の確実な習得
- （思考力、判断力、表現力等）社会的な見方・考え方を働かせた「思考力、判断力、表現力等」の育成
- （社会参画意識の涵養等）主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題（問い）を主体的に解決しようとする態度の育成

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- （学習の過程）学習課題を把握する場面では、適切な学習課題（問い）を自ら設定することには課題があると考えられる。学習課題を追究する場面では、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察することについては一定程度の生徒ができています。
- （知識）社会における様々な場面で活用できる知識を獲得することについては成果が見られるが、「公共」で扱う主要な概念を深く理解することについては課題があると考えられる。（技能）収集した情報を社会的な見方・考え方を働かせて資料から関連させて的確に読み取ることについては成果が見られるが、読み取った情報を課題解決に向けて整理してまとめることについては課題があると考えられる。
- （思考力、判断力、表現力等）社会の変化を踏まえて課題の解決に向けて、公正に判断することについては成果が見られる。社会的事象等から課題を見いだすことや、習得した知識を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察、構想したことを表現することについては課題があると考えられる。
- （社会参画意識の涵養等）社会に参画することを視野に入れて、よりよい社会をつくらうとすることについては成果が見られるが、社会の現状を把握して、社会生活に生かそうとすることについては課題があると考えられる。

3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・（学習の過程）課題把握、課題追究、課題解決といった一連の学習の過程を意識した指導計画の作成、特に、学習課題の設定、調査方法や追究方法の吟味、学習成果のまとめなどの学習活動の一層の工夫。
 - ・（知識）主要な概念等に関する知識を獲得する学習活動の一層の充実。（技能）読み取った情報を課題解決に向けて整理してまとめる等の学習活動の充実。
 - ・（思考力、判断力、表現力等）社会的事象等から課題を見いだす学習活動の充実。習得した知識を繰り返し活用して、事実を基に多面的・多角的に考察、構想したことを表現する学習活動を「倫理」や「政治・経済」でも充実。
 - ・（社会参画意識の涵養等）社会の現状を把握する活動の充実、特に、専門家や関係諸機関などとの連携・協働等、社会への参画意識を高める学習活動の工夫。

4. 調査問題例（ペーパーテスト調査）

「適切な学習課題（問い）を自ら設定すること」の問題例
（別紙1、別紙2参照）

- 複数の資料を関連付けながら、課題の探究に必要な情報を読み取り、適切な学習課題（問い）を設定することを重視して、「思考・判断・表現」を測る観点から作成した。
- 難民問題と国境の管理に関する問題の解決に向けて、資料を読み取り、適切な学習課題（問い）を自ら設定することに向けて考察する問題を出題。

【通過率 43.9%】

「社会の変化を踏まえて課題の解決に向けて、公正に判断すること」の問題例（別紙3参照）

- 社会的事象について、選択・判断の手掛かりとなる考え方を踏まえ、公正に判断することを重視して、「思考・判断・表現」を測る観点から作成した。
- 科学技術の発達に伴って生じる課題について、生成AIの活用について話し合うという場面設定のもとで公正に判断する問題を出題。

【通過率 78.6%】

「適切な学習課題（問い）を自ら設定すること」の問題例

公共 大項目C「持続可能な社会づくりの主体となる私たち」
国際社会における難民問題の解決に向けて考察する問題

複数の資料を関連付けながら、課題の探究に必要な情報を読み取り、適切に課題を設定する問題。

5 「公共」の授業後の振り返りシートに記入してきた「さらに考えてみたいこと」を参考にし、各自が課題を設定し、その課題を探究する活動を行っています。あとのIとIIの問題に答えなさい。

I 生徒Aは、難民問題と国境の管理を取り上げ、その解決策を提案したいと考えました。生徒Aが課題の設定と課題解決の見通しについてまとめた〈メモ〉を読み、あとの(1)と(2)の問題に答えなさい。

〈メモ〉

◇課題の設定

シリアからの難民が多く流入したヨーロッパでは、2015年に欧州難民危機が発生した。
⇒^(a) 難民の受け入れの問題や国境管理の在り方について、適切な解決策を示したい。

◇課題解決の見通し

1 これまでの学習で分かっていること

シェンゲン協定（1985年）署名

シェンゲン協定締結国間において国境管理の撤廃と人の移動の自由化が決定

シリア危機（2011年～）

シリアから逃れた難民が多く発生

欧州難民危機（2015～2016年）

シリアからヨーロッパへ多くの難民が流入し、政治的・経済的混乱が発生

オーストリア、ドイツ、デンマーク、スウェーデン、フランス、ノルウェーがシェンゲン協定の例外として期限付きで入国審査を実施（2015～2016年）

（駐日欧州連合代表部ホームページ等より作成）

2 今後調べたり考えたりすること

- ・シリアからの難民の出国先に関する資料を調べる。
- ・各国は、国境の管理をどのように行うべきか。
- ・難民の保護に関わって、国際社会はどのように協力するべきか。
- ・シリアからの難民の多くがヨーロッパに流入した背景には、EU加盟国間の多くで国境検査なしで自由に移動することを認めたシェンゲン協定があるのではないかと。
- ・^(b) EUの各加盟国のみならず国際社会全体で、難民の保護に協力するべきではないか。

「適切な学習課題(問い)を自ら設定すること」の問題例(続き)

(2) 下線部① EU の各加盟国のみならず国際社会全体で、難民の保護に協力するべきではないかに関連して、生徒Aが作成した〈資料1〉と〈資料2〉を正しく読み取り、その内容を踏まえて設定した問いの組合せとして適切なものはどれですか。あとの1から4の中から1つ選びなさい。(18)

〈資料1〉シリアからの難民の国別の受け入れ数(上位10か国)

	受け入れ国	2011～2020年のシリアからの受け入れ難民数の合計(人)	2011～2020年のシリアからの難民数全体に占める割合(%)
1位	トルコ	21,983,864	52.3
2位	レバノン	7,906,228	18.8
3位	ヨルダン	5,371,262	12.8
4位	ドイツ(※)	2,788,188	6.6
5位	イラク	1,973,948	4.7
6位	スウェーデン(※)	650,131	1.5
7位	オーストリア(※)	257,756	0.6
8位	オランダ(※)	189,634	0.5
9位	ギリシャ(※)	128,253	0.3
10位	デンマーク(※)	123,670	0.3

(注) 網掛けはシリアと国境を接している国。(※)はEU(欧州連合)の加盟国。

(UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)「難民統計」より作成)

〈資料2〉難民保護と国境管理に関わるEU(欧州連合)の動き

(注)〈メモ〉中の「1 これまでの学習で分かっていること」と同じ

シェンゲン協定(1985年)署名 シェンゲン協定締結国間において国境管理の撤廃と人の移動の自由化が決定
シリア危機(2011年～) シリアから逃れた難民が多く発生
欧州難民危機(2015～2016年) シリアからヨーロッパへ多くの難民が流入し、政治的・経済的混乱が発生
オーストリア、ドイツ、デンマーク、スウェーデン、フランス、ノルウェーがシェンゲン協定の例外として期限付きで入国審査を実施(2015～2016年)

(駐日欧州連合代表部ホームページ等より作成)

- ア EU(欧州連合)加盟国の一部が入国審査を実施した中で、シリアと国境を接する4か国でシリアからの難民の8割以上を受け入れていることから、「どのようにして国際社会全体で難民の受け入れをしていくべきか」という問いを設定する。
- イ EU(欧州連合)加盟国の中でシリアからの難民を多く受け入れている上位2か国は人の移動を制限する措置をこれまでとったことがないことから、「自国へ到着した難民は必ず受け入れて保護する仕組みを各国がどのようにして整えていくべきか」という問いを設定する。

- 1 アとイともに適切である
- 2 **アのみ適切である**
- 3 イのみ適切である
- 4 アとイともに適切ではない

【通過率 43.9%】

「社会の変化を踏まえて課題の解決に向けて、公正に判断すること」の問題例

公共 大項目 A 「公共の扉」
科学技術の発達に伴って生じる課題を考察する問題
 科学技術の発達に伴って生じる課題について、選択・判断の手掛かりとなる考え方を踏まえ、考察する問題。

(2) 生徒Cと生徒Dは、テーマⅡ「科学技術と私たち」について考えようと、生成 AI (画像、文章、音声、プログラムコード、構造化データなど様々なコンテンツを生成することのできる人工知能のこと)の活用について話し合いました。次の〈会話文〉中の **ウ** から **オ** に当てはまるものの組合せとして最も適切なものはどれですか。下の 1 から 4 の中から 1 つ選びなさい。(2)

〈会話文〉

生徒C：著作権保護や特許制度は **ウ** とそれを生み出す人間の努力の価値を守ろうとするものだと思う。生成 AI の活用にあたって、問題となっているのは、生成 AI が様々な情報から学んだことをもとに回答を導き出す過程や、私たちが生成 AI から回答を得る過程で、これらの価値が侵害されているのではないかと考えられるからだね。確かに、他人のアイデアを許可なく利用して利益を得ることは疑問があるね。

生徒D：一方で、知りたいことが調べやすくなるし、自分だけでは創り出すのが大変なものを生成 AI を使うことで得やすくなるなら、利便性が高いといえるね。Cさんの心配していることを克服しながら使う方法を考える必要があるね。例えば、Cさんが心配しているのは具体的にはカード **エ** のような場合かな。

生徒C：ほかにも生成 AI の便利な使い方として、悩み事を相談するということもあるよ。

生徒D：助言を得たとしても、その後の行動を決定するのは自分だという責任を忘れず、**オ** であることが大切なのは、相手が人間でも生成 AI でも同様だね。

X

国語の宿題で評論文の要約をすることが課されたので、分からない言葉の意味を調べるのに生成 AI を用いた。

Y

絵画コンクール用の絵を描く際に、自分の作品をより構成が整うように生成 AI で修正し、そのことを伏せて出品した。

ウ**エ****オ**

- | | | | |
|---|-----|---|-----|
| 1 | 模倣品 | X | 他律的 |
| 2 | 創造物 | Y | 他律的 |
| 3 | 模倣品 | X | 自律的 |
| 4 | 創造物 | Y | 自律的 |

【通過率 78.6%】